

CLTの活用促進に向けた課題(ヒアリング等における主な指摘)(たたき台)

○CLTの認知度が低い

- ・CLTそのものを知らない施主が多い。(有識者)
- ・CLT活用の魅力が施主に伝わっていない。(有識者)
- ・CLTの活用が社会的にも意義のある点について理解されていない。(工務店等)

○コスト面の優位性が低い

- ・他の工法と比べてコスト高になるので採用しにくい。(工務店等)
- ・オーダーメイド型の多品種生産が効率性を下げている。(業界団体)
- ・パネルに加えて金物部分のコストが負担になっている。(工務店等)

○需要に応じたタイムリーな供給を行えていない

- ・まとまった量の発注をしようとしても対応してもらえない。(業界団体)
- ・年末になると製造工場が手一杯で発注を受け付けてもらえない。(業界団体)

○CLTの活用範囲をより広くする必要がある

- ・複雑な計算を不要とする基準告示の範囲をさらに拡充していく必要がある。(有識者、工務店等)
- ・中層建築物の構造設計手続きに煩雑な面がある。(工務店等)
- ・建築分野以外での活用が進んでいない。(有識者)

○CLTの設計者等の担い手が見つかりにくい

- ・CLT建築物の設計を誰に頼んだらいいのか、わからないケースがある。(自治体・業界団体)
- ・木造の設計に慣れた設計者は増えてきたが、まだ少ない。(自治体・工務店)
- ・非木造をやってきた設計者が、木造設計に取り組みやすい環境整備が必要。(有識者)